

The International Free Talk Conference Mike Blount スピーチのご報告

日時 9月27日(日)午後2時~4時

会場 クロスバル新潟 402 会議室

NPO うちのスペース・新潟さん主催のインターナショナルフリートークで、様々なことによって、社会から引きこもってしまった若者等（社会的な疎外を受けた若者）をどのように元気にしたら良いか、ワークショップ形式でお話をさせていただきました。若者や大学生、若者をサポートする方等 15 人ほどの方からご参加いただきました。



テーマは、YOUTH SOCIAL EXCLUSION（若者の社会的疎外）についてです。引きこもりやニート等、特別なことと感じてしまいがちですが、今日の経済情勢を考えると特別なことでは無くなりました。引きこもりや職の無い若者が増えており、その対策が必要です。

ヨーロッパやカナダ等では、早くからユース対策が行われて来ました。ヨーロッパの対策も考え合わせて、新潟でどのような行動を起こせるかゲートウェイプログラムを提案

させていただきました。その中で、イギリス等で行われているライフスキルの向上を含めた職業訓練やカナダ等で行われている若者版の Local Exchange Trading System (LETS)、地元交換流通システムも紹介させていただきました。

その後、3グループに分かれて話し合いました。

第1に、「若者が抱える幾つかの課題と思われること」幾つかを課題とし優先順位付けを行いました。最も多かったのが、No hope と No job が最も高く、続いて、No guidance でした。



第2は、提案させていただいたゲートウェイプログラムから、必要性の高いと思われるものを上記と同様の優先順位付けを行いました。「友達と会い勉強できる場の提供」「問題を一緒に考えてくれるカウンセラー」「自分の思いを代弁してくれるシステム」が多く選ばれていました。

若者の多くは、やりがいのある職業等を求めています。経済情勢の悪化等で、職に就けない若者が増えてくると考えられます。地域や会社のみなさん等と何か一緒に若者対策のアクションが起こしていけたらと提案させていただきました。

NOP うちのスペース・新潟さん、通訳の早川さん本当にありがとうございました。